

「閉鎖性海域中長期ビジョン(案)」がまとまり、意見募集へ 環境省



環境省は、閉鎖性海域の目指すべき水環境の目標と、その達成に向けたロードマップを示す「閉鎖性海域中長期ビジョン(案)」をとりまとめ、2010年1月28日から2月11日までの期間で意見の募集(パブリックコメント)を行いました。

代表的な閉鎖性海域である東京湾、伊勢湾、瀬戸内海については、1979年から水質総量規制が行われ、著しい水質汚濁は改善されてきていますが、水生生物の生息や再生産に影響を及ぼす状況は依然続いています。そこで、環境省は、環境の変化や新たな科学的知見を踏まえた水質目標と、環境改善のためのより効果的な対策の検討が必要と考え、2007年12月から「閉鎖性海域中長期ビジョンに係る懇談会」にて検討を行ってきました。

ビジョンで新たに目標設定が必要とされた底層 D0 と透明度について環境省は、2014 年度を目標年次とする第 7 次総量規制削減の施策の目標にするため、来年度から具体的な基準値設定や海域類型の指定のための調査に乗り出す予定です。この調査結果を基に、底層 D0 と透明度の環境基準化に向けた検討を行う方針です。

当社では、生活環境項目を中心とした水質分析について多くの実績と経験があります。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

資料 2010年2月3日付 環境新聞
2010年1月28日付 EIC ネット HP

水質分析箇所 清水いより